

# VG 槻輪だより

会報 第237号

発行日 令和6年6月1日

発行・編集 VG 槻輪

代表者 大岡成一

<http://web1.ibj.co.jp/~kirin>

**VG 槻輪**  
**「わがまち紹介」**  
**活動報告**

5月16日、5月の最適な天気恵まれ、ウオーキングしても汗ばむこともない一日でした。

全員定刻にJR撰津富田駅改札口に集合し、地元の会員2名の方の案内で、4月に新しく開設されたJR富田駅北側のバス停①番で南平台經由奈佐原方面行バスに乗車するようガイドしてくれました。巡礼橋バス停で下車しました。



西国街道から巡礼橋を渡るとバス停

高槻市の西国街道沿いの巡礼橋は、西国街道から富田に行く昔の女瀬川(氷室川)にかかっています。巡礼者は、この橋を渡って富田經由で西国第二十二番札所の総持寺に行つたようです。



富田町 1 丁目山家道

富田にも多くの参拝できる場所もありますので、この巡礼橋は、にぎわったと思われまふ。

巡礼橋は、交通の要所であったことは今も変わらず大型車も非常に多く通りますが歩道の整備が出来ていないので非常に危険な道路です。次は、巡礼橋からも見えますが、宮田の春日神社の参拝に行きました。

春日神社(宮田町) 春日神社は、武甕

榎命、経津主命、天児屋根命を祀られて由緒は、判らないけれども棟木に「仁和元年(887年)9月4日奉勤請」と記載があり、同年の勧請らしい。



金鋼組再建の春日神社

その再建は日本最古の会社である宮大工の「金剛組」が設

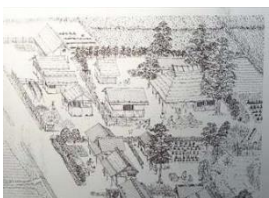
計施工とのこと。この周辺はまた鎌倉時代の農村集落跡の宮田遺跡とされています。阿武山古墳にも近く藤原氏の祖中臣鎌足に関係があるのかも知れません。



宮田遺跡の説明版

つていました。屋敷地には主屋など数棟の建物と井戸が中庭を囲むように配置され、一族の安定と繁栄を願って敷地の東北に守り神として屋敷墓をそなえたものもありました。

宮田遺跡は、鎌倉時代(12〜13世紀)の農村の具体的な姿がはじめて明らかになった集落跡として知られています。女瀬川の自然堤防上に旧流路に沿って、平安時代後期から鎌倉時代に営まれた農村で、春日神社の東側に条理に沿った屋敷地がみつかっています。溝と垣根で囲まれた約20メートル四方の屋敷地が、東西にいくつも並び、その南側は水田とな



中世の農村の貴重な遺跡です

## 2024年6月「わがまち紹介」活動

神社仏閣や地名から学ぶ歴史の“まち”：赤大路鴨神社・子安神社・総持寺参拝

月 日：2024年6月13日(木)

施設見学：鴨神社(高槻)・子安神社・総持寺参拝

集合場所：JR 撰津富田駅改札 出口

その他：詳細は別途配布資料を参照下さい。

## 2024年7月「わがまち紹介」活動

急変貌した「西河原地区」を散策しましょう！！

月 日：2024年7月11日(木)

施設見学：疣水神社・西河原神社・西河原公園他

集合場所：JR 総持寺駅改札 出口

その他：詳細は別途配布資料を参照下さい。